

開講科目名 Course	税務会計研究（Ａ） / Tax Accounting（Ａ）
時間割コード Course Code	13600
開講所属 Course Offered by	会計学研究科博士前期課程 /
開始年度・学期 Start Year・Semester	2022年度 / Academic Year 前期
曜限 Day, Period	木 / Thu 5
開講区分 semester offered	前期 / .
単位数 Credits	2.0
学年 Year	1,2
主担当教員 Main Instructor	永田 千香
科目区分 Course Group	基幹科目
教室 Classroom	9 3 講義室
講義形式 Lecture Style	講義科目
担当教員名 Instructor (担当教員所属名 Affiliation)	永田 千香（会計学研究科博士前期課程）
授業の目標	会計の基礎修了者に対して、税務会計の基本を学び、高度なタックスプランニングに貢献できる基礎理論力の強化を目標とします。
授業の概要	本講義では、理論と実務の両面から、税務会計の目的である課税の基準となる課税所得の計算や、課税価額の評価を目的とする会計を研究します。理論の面では、企業会計と課税所得の計算との差異を中心に考察し、実務の面では、税制改正や税務調査の実例を適宜に紹介する予定です。税務会計研究（Ａ）と税務会計研究（Ｂ）との関連性が深いため、（Ａ）（Ｂ）通年での受講が望ましいと考えます。主に講義形式で行います。
評価方法	講義での発言・取り組み等総合的に判断します。
教員の指導に従わない以外の事由による失格基準	特になし
授業計画	1．制度会計における税務会計 2．税務会計の概要 3．税務会計学 4．課税所得の計算構造 5．消費税の会計 6．販売収益 7．役務収益・請負収益 8．譲渡収益・受贈益・債務免除益 9．受取利息・使用料・受取配当等 10．リース料・その他の収益 11．引当金 12．準備金 13．資本金等の額 14．企業集団税制 15．同族会社税務
テキスト	講義において資料を配布する予定です。
参考書	
アクティブラーニング、ディスカッション、実習等	含まない
アクティブラーニング、ディスカッション、実習等の内容	
実務経験のある担当教員による授業	該当しない

担当教員の実務経験を活かした授業の内容	
質問への対応方法	随時対応します。
フィードバックの方法	翌週返却します。
予習・復習等、準備学習の内容及び時間	各回講義後において、講義内容に関連した計算問題を復習する時間を必要とします。
使用言語	日本語
SDGs 17の目標（1～10）	
SDGs 17の目標（11～17）	
PROGリテラシーの要素	
PROGコンピテンシーの要素	